

# メタルバイオテクノロジー研究部会シンポジウム

芝浦工業大学主催

(社) 日本生物工学会メタルバイオテクノロジー研究部会共催

(社) 日本生物工学会東日本支部共催

## 『資源・環境保全分野におけるメタルバイオテクノロジーの可能性 (その2)』

### 概要：

近年、ハイテク産業の発展によってレアメタルの需要が急増しています。しかし一方で、レアメタルの活用は、資源枯渇や環境汚染等の問題を引き起こす可能性もあるため、さまざまな廃棄物から効率的にレアメタルを回収するための技術の実用化が望まれています。その中で、微生物を活用してレアメタルを回収する技術は、今後の実用化／事業化が期待され、大きな注目を集めつつあります。そこで、資源・環境保全に資する各種メタルバイオ技術を網羅的に紹介するシンポジウムを開催します。

### 開催日時：

2011年1月22日(土) 13:00-16:50 (その後懇親会を予定しています)

### 開催場所：

芝浦工業大学 豊洲キャンパス 交流棟 501 教室 (有楽町線豊洲駅から徒歩約10分)

[http://www.shibaura-it.ac.jp/about/pdf/access\\_toyosu.pdf](http://www.shibaura-it.ac.jp/about/pdf/access_toyosu.pdf)

### 参加方法：

参加ご希望の方は、お名前、ご所属、連絡先 (TEL、メールアドレス)、懇親会へのご参加の有無を明記の上、下記申し込み先までメールにてご連絡下さい。参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。懇親会費は1000円を当日会場でお支払ください。

### 申し込み先：

メタルバイオテクノロジー研究部会

(受付担当：大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 清 和成)

E-mail: [metalbio\\_sbj\\_2010@wb.see.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:metalbio_sbj_2010@wb.see.eng.osaka-u.ac.jp)

当日プログラム :

12:30- 受付

13:00-13:05 開会の挨拶

メタルバイオテクノロジー研究部会代表 池道彦 (大阪大学大学院工学研究科)

13:05-13:40 『ヨウ素資源と微生物の関わり』

天知誠吾 (千葉大学大学院園芸学研究科)

13:40-14:15 『微生物による重元素濃集機構の分子レベルでの解明』

大貫敏彦 (日本原子力研究開発機構)

14:15-14:50 『重金属を認識する抗体と計測への応用』

佐々木和裕 (電力中央研究所)

14:50-15:25 『クロム除去システムに有用な微生物』

杉山友康 (東京工科大学応用生物学部)

15:25-16:00 『メタゲノムアプローチによるメタルイオン蓄積関連遺伝子群のスクリーニングと  
その解析』

竹山春子 (早稲田大学理工学術院)

16:00-16:35 『地盤環境保全分野における重金属に対する取り組み状況』

根岸昌範 (大成建設株式)

16:35-16:45 『レアメタル抽出技術開発』 (産業技術研究開発委託事業の取り組み)

山下光雄 (芝浦工業大学大学院工学研究科)

16:45-16:50 閉会の挨拶

(社) 日本生物工学会東日本支部長 池田宰 (宇都宮大学大学院工学研究科)